

大ト協

ふれあいトラックフェスタ開催

2万7000人に業界PR

【大阪】大ト協(坂一万7000人来場し、本克己会長)は7日、盛大に行われた。

吹田市の万博記念公園・お祭り広場でトラックの日行事「ふれあいトラックフェスタ2012」を開催。ト

ラック関係者をはじめ、子ども連れの家族らが、昨年の約2倍にあたる約2



坂本会長

援に率先して参加した」と述べ、「皆様の暮らしや経済を守って

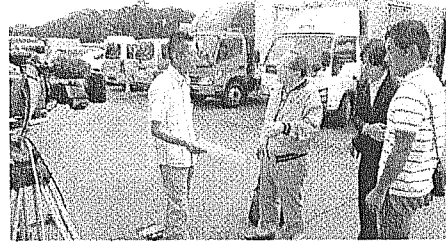
開催式で、坂本会長は「去年3月の大震災の時に、当たり前のごとだが、我々トラックは各地域から復興と支

域、府民の皆様が改めてご理解をお願いしたい」と、ライフラインである業界を強くPRした。

また、「今日は青協を中心にして会員の皆様が一生涯懸命に頑張っていたら、すばらしい催しになった。日頃、協会にご支援を頂いていることと合わせて、深く感謝を申し上げます」と述べた。

会場では、各支部によるフリーマーケットや、キャラクターショー「特命戦隊ゴーバスターズショー」、交通安全体験コーナー、低公害車の展示、白バイ試乗体験など様々なブースが設けられた。

なお、このイベントはチャリティとして位置づけられ、売上金の一部は交通遺児などへ寄付される。



【大阪】大ト協の坂本克己会長は「ふれあいトラックフェスタ」の会場で、朝日放送見知らぬ関西新発見!

みしらん(13日放送分の収録に参加し、トラック運送業界を力強くPRした。

坂本会長は業界について、「暮らしを守って経済を支える重要なインフラで、国内輸送

は陸、海、鉄道、空があり、その中で我々が担う陸上トラックが90%のシェア。そして150万人を超える乗務員、ドライバーの皆さんが毎日、朝夕問わず雨の日も風の日も一

生懸命に頑張っている」とPRした。

【大阪】ヘルスケアネットワーク(OCHIS)は「健康イベントコーナー」を設置し、睡眠時無呼吸症候群(SAS)などについての解説や血圧測定、健康関連グッズの販売などを行った。

会場では、SASスクリーニング検査器に使用されているパルスオキシメーターや、SASの治療法であるCPAP(シーパップ)が実際に設置され、参加者に「SAS特有の眠気は運転操作に影響し、交通事故を引き起こす危険性に加え、日常生活にまで影響を及ぼす」と説明。早期の適切な治療を呼びかけた。

